

## I 第30週の発生動向 (2012/7/23~2012/7/29)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内で、迅速診断キットにより2人がA型と確認され、報告がありました。
2. 手足口病については、東地方+青森市保健所管内では第21週から、弘前保健所管内では第28週から、むつ保健所管内では第29週から**警報**が継続しています。

## II 第30週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	2	0.2											2	0.0	2				2	0.2
(74) RSウイルス感染症	2	0.3	1	0.1	4	0.4	1	0.2	3	0.5	2	0.5	13	0.3	-1				2	0.3
(75) 咽頭結膜熱	5	0.6			2	0.2	1	0.2	2	0.3	1	0.3	11	0.3	7				5	0.6
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.9	6	0.7	12	1.3	1	0.2	8	1.3	4	1.0	38	0.9	-17				7	0.9
(77) 感染性胃腸炎	20	2.5	6	0.7	4	0.4	1	0.2	3	0.5	8	2.0	42	1.0	-12				20	2.5
(78) 水痘	11	1.4	2	0.2	4	0.4			12	2.0	1	0.3	30	0.7	2				11	1.4
(79) 手足口病	110	13.8	111	12.3	8	0.9	23	4.6	21	3.5	12	3.0	285	7.0	58				110	13.8
(80) 伝染性紅斑	2	0.3			1	0.1							3	0.1	2				2	0.3
(81) 突発性発疹	2	0.3	3	0.3	1	0.1	1	0.2	8	1.3	1	0.3	16	0.4	-3				2	0.3
(82) 百日咳			1	0.1									1	0.0	0					
(83) ヘルパンギーナ	14	1.8	21	2.3			1	0.2	9	1.5	11	2.8	56	1.4	13				14	1.8
(84) 流行性耳下腺炎	5	0.6	7	0.8	3	0.3			1	0.2			16	0.4	-3				5	0.6
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															-1					
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			4	2.0	1	1.0					6	0.5	-1				1	0.5
基幹 (92) クラミジア肺炎															0					
(93) 細菌性髄膜炎															0					
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	4	4.0	1	1.0			1	1.0	7	1.2	-7					
(96) 無菌性髄膜炎															0					

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前2人(2012年計:260人)

(34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：五所川原1人(2012年計:10人)

## IV 病原体検出情報

※( )内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・麻しん疑い患者1名(尿、血液、6/11)・・・**水痘・带状疱疹ウイルス**：八戸(1)

# 感染症の窓

## 百日咳 (五類定点把握疾患)

百日咳は、百日咳菌 (*Bordetella pertussis*)、一部はパラ百日咳菌 (*Bordetella parapertussis*) 感染による上気道感染症で、世界的に見られる疾病です。国内ではワクチンの普及により、患者数は減少しています。

感染経路は、感染者の鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染、および接触感染です。感染すると、かぜのような症状から始まり、次第に咳が増え、けいれん性発作性の咳となります。乳幼児では重症化しやすく、肺炎、脳症等の合併症を伴う場合があります。

成人では、咳が長期に持続し、典型的な発作性の咳を示すことなく回復しますが、菌の排出があるため、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源になる可能性があります。(参考：IDWR「感染症の窓」)

県内の定点あたり患者報告数は、過去5年間は全国より少なく、全国同様に2008年以降減少しています(図)。2008年の年間患者報告数32人に対して、2012年は第29週までに29人の患者報告があり、今後の動向に注意が必要です。

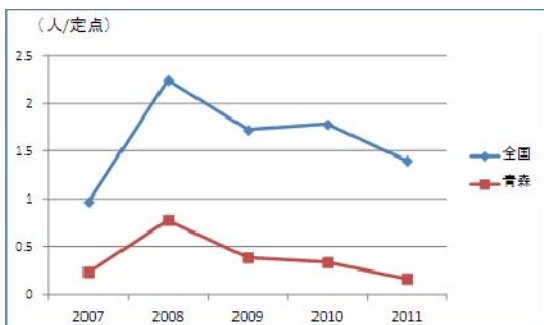


図 年別定点あたり患者報告数

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（届出数は速報値です）単位：人 2012年第11週～第29週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
11	H24.3.12 ~ H24.3.18						
12	H24.3.19 ~ H24.3.25						
13	H24.3.26 ~ H24.4.1		梅毒(1人)				
14	H24.4.2 ~ H24.4.8						
15	H24.4.9 ~ H24.4.15			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
16	H24.4.16 ~ H24.4.22						
17	H24.4.23 ~ H24.4.29						
18	H24.4.30 ~ H24.5.6						
19	H24.5.7 ~ H24.5.13						
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	腸管出血性大腸菌感染症1人 E型肝炎1人	つつが虫病1人				
21	H24.5.21 ~ H24.5.27		梅毒1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					
29	H24.7.16 ~ H24.7.22						

VI 結核(二類全数把握疾患)

単位：人

2012年第11週～第29週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
11	H24.3.12 ~ H24.3.18	5		4		4	
12	H24.3.19 ~ H24.3.25		1	3		5	1
13	H24.3.26 ~ H24.4.1	1	6	3	1	3	
14	H24.4.2 ~ H24.4.8	1	2	4		3	
15	H24.4.9 ~ H24.4.15		4	1	2	1	
16	H24.4.16 ~ H24.4.22	5	2	4		1	
17	H24.4.23 ~ H24.4.29	3		7		1	
18	H24.4.30 ~ H24.5.6	2	1	7	1		
19	H24.5.7 ~ H24.5.13	3	1				
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	1	1	2	1	2	1
21	H24.5.21 ~ H24.5.27	2	1	2	1	2	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		1	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	3		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	7	2	1	
29	H24.7.16 ~ H24.7.22		1	3	2		

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

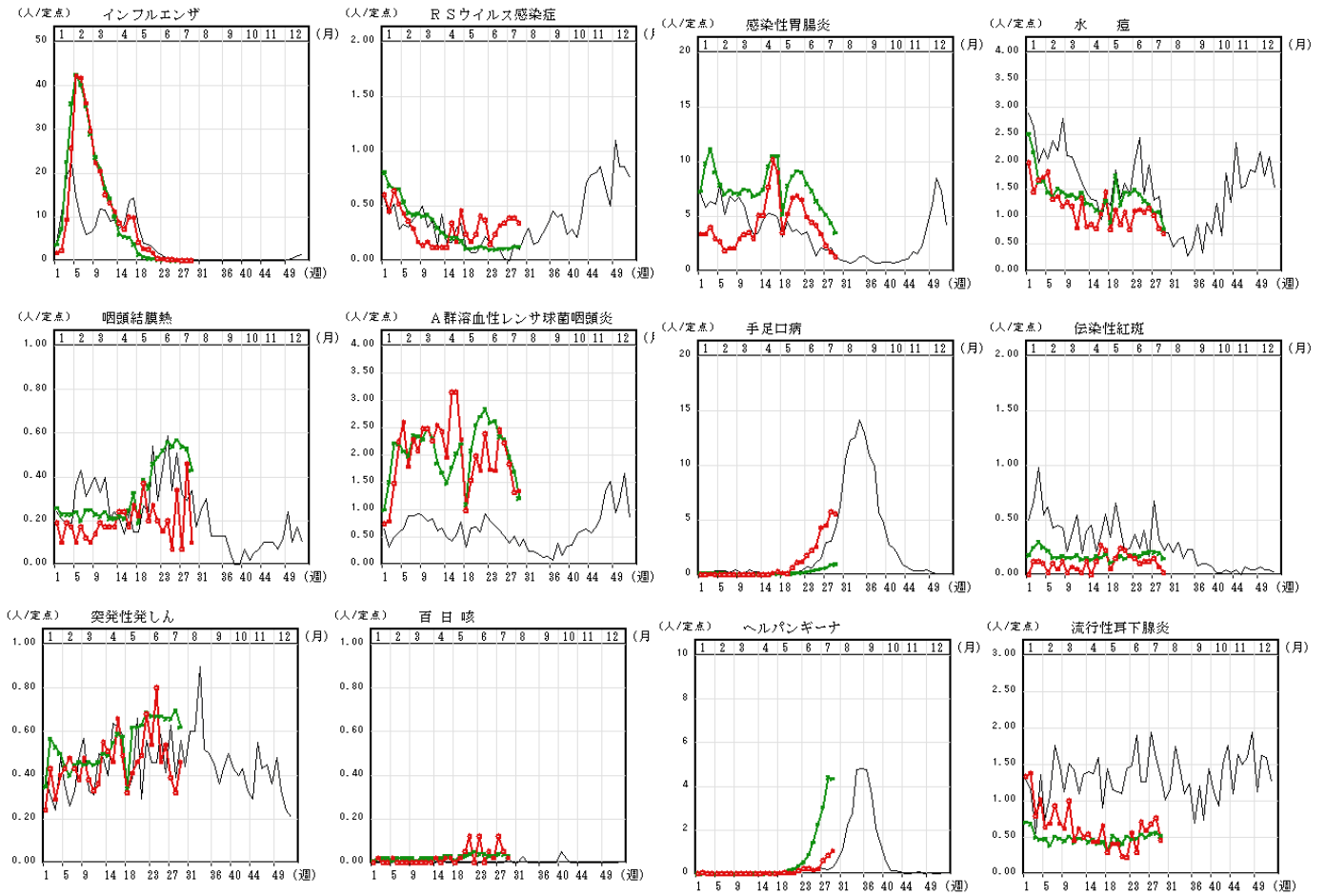
（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2012年7月31日9時00分集計速報値

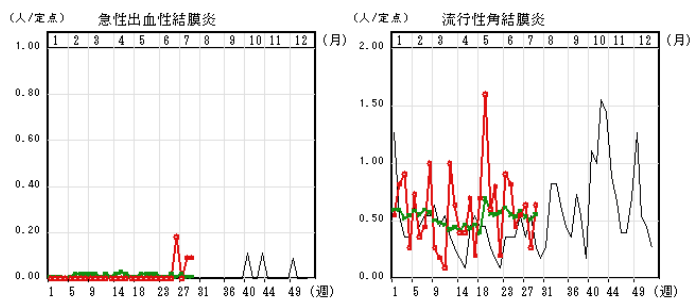
	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
全国	16414	2	112	1319	15	10	79	113	6	5	1	2	191	79	48	3	39	5	474	8
青森県	257	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	2	0
	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	創傷型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん						
全国	478	124	234	6	104	150	771	31	7	463	59	48	854	200						
青森県	2	0	2	0	0	1	3	0	0	3	0	1	0	0						

グラフの説明 ○—○は 2012 年青森県、——は 2011 年青森県、×—×は 2012 年全国

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2012 年第 29 週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2012 年第 29 週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2012 年第 29 週

